

令和4年度

全国学力・学習状況調査

本調査は、文部科学省が、学校の設置管理者等（教育委員会、学校法人等）の協力を得て実施するものです。

調査実施日：令和4年4月19日（火）

調査の目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

調査対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

① 教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 国語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、家庭学習の状況 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など

時間割

◎小学校（児童質問紙は、3時限目終了後以降に、各学校の状況に応じて実施。）

1時限目	2時限目	3時限目	
国語（45分）	算数（45分）	理科（45分）	児童質問紙（20～40分程度）

◎中学校（生徒質問紙は、3時限目終了後以降に、各学校の状況に応じて実施。）

1時限目	2時限目	3時限目	
国語（50分）	数学（50分）	理科（50分）	生徒質問紙（20～45分程度）

※ 児童生徒質問紙調査について、一部の学校で、端末を活用したオンラインによる回答方式で実施する（実施期間は、4月19日（火）～4月28日（木））。

全問題については、国立教育政策研究所 HP をご参照ください。

日常の事象を数理的に捉え数学的に表現・処理すること（地域めぐり）

速さを求める除法の式と商の意味を理解しているかどうかをみる。

1

話し合いをする（地域清掃活動）

話し合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考えることができるかどうかをみる。

本田さんが、次の発言者として石川さんを指名する発言をすればよい。なぜなら、山下さんの質問に石川さんが答える前に、大野さんが別の質問をしたからだ。

3

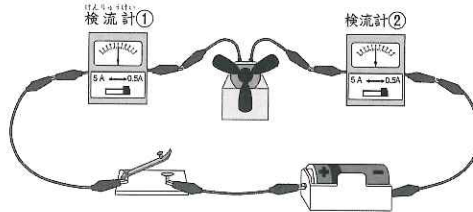
ひろしさんたちは、下の図の回路を流れる電気の流れ方について、予想したことを話し合いました。

プロペラのついたモーター



ひろしさん かん電池の＋極からモーターを通して－極へ電気が流れていて、モーターを通る前とあとの電気の量は、同じだと思うよ。	やす子さん かん電池の＋極からモーターを通して－極へ電気が流れていて、モーターからもどってくるときは、電気の量は、減っていると思うよ。
しんやさん かん電池の＋極と－極からモーターに向かって電気が流れていて、それぞれの電気の量は、同じだと思うよ。	あやかさん かん電池の＋極から電気が流れていて、モーターを通ったあとは、電気の量は、なくなっていると思うよ。

ひろしさんたちは、予想を確かめるために、2つの検流計を使って、下の図の回路で実験することになりました。



(2) やす子さんの予想が正しければ、検流計①の針が右にふれて3の目盛りを指したときに、検流計②の針はどのようになると考えられますか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

1 針の向き：検流計①と逆。 針の目盛り：検流計①と同じ。	2 針の向き：検流計①と同じ。 針の目盛り：検流計①とちがう。
3 針の向き：検流計①と逆。 針の目盛り：検流計①とちがう。	4 針の向き：検流計①と同じ。 針の目盛り：検流計①と同じ。

●出題の趣旨

電流の流れ方について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できるかどうかをみる。

●正答

2

- 1 演説などの際に使うことがあるテレプロンプターについて、理科の授業で科学的に探究しました。
(1)と(2)の各問いに答えなさい。

テレプロンプターのモデルをつくる場面



先生：光の反射を利用したテレプロンプターは、話し手からは文字が見えて、聞き手からは文字が見えない装置です。
タブレット型のコンピュータと半透明の板を使って、テレプロンプターのモデルをつくり、光の進み方について学習していきましょう。

生徒：図1のようにすると、半透明の板に「あ」を表示することができました。



図1

(1) 図1のように「あ」を半透明な板に表示したとき、タブレット型のコンピュータの画面として適切なものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。



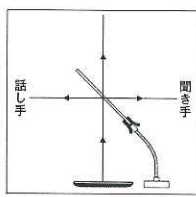
光の道筋を考える場面

タブレット型のコンピュータから出た光の道筋を考えてみましょう。



<考え1>

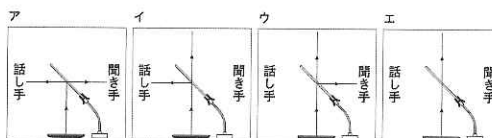
半透明の板を使っているので、光の道筋はこの図のようになると考えます。



<考え2>

テレプロンプターは、話し手からは文字が見えて、聞き手からは文字が見えないので、光の道筋は「X」の図のようになると考えます。

(2) 「X」に適するものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。



●出題の趣旨

(1) 光の反射を利用したテレプロンプターのモデルを作り、半透明の板に反射して見える像に対して投影する像を考える場面において、光の反射の幾何光学的な規則性についての知識・技能を活用できるかどうかをみる。
(2) 光の直進と反射についての知識・技能及び「テレプロンプターは、話し手からは文字が見えて、聞き手からは文字が見えない」という情報を活用して、テレプロンプターのモデルの光の道筋を検討して改善し、適切な光の道筋を説明することができかどうかをみる。

●正答

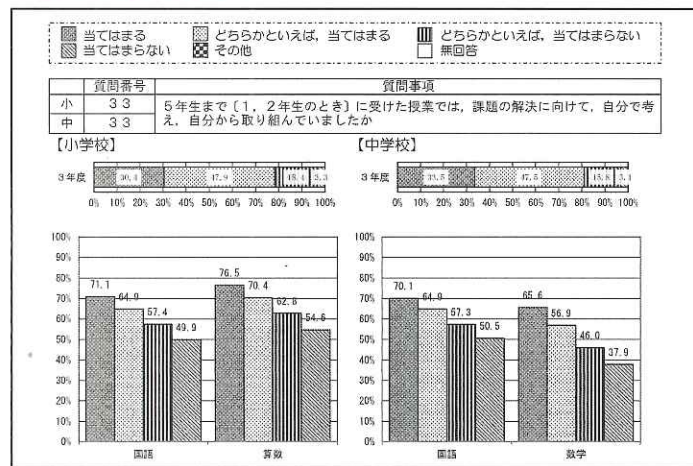
(1)	イ
(2)	イ

調査結果等の集計・分析・提供

集計・分析

- ◇国全体、各都道府県、地域の規模等における調査結果を公表
- ◇児童生徒の学習環境や生活習慣、学校における指導や教育条件の整備状況等と学力の相関関係を分析、公表

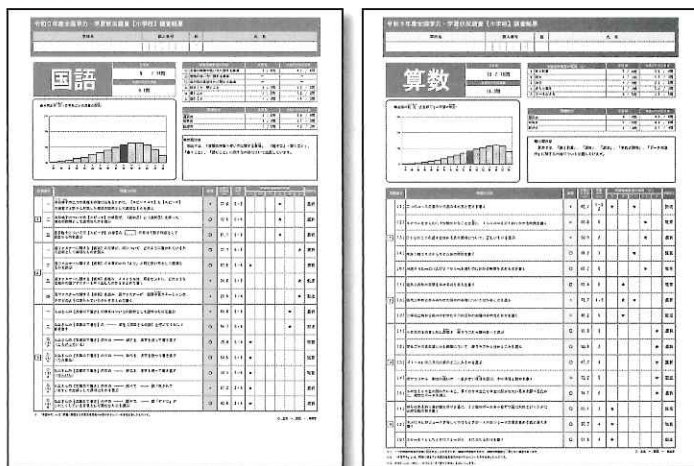
▼公表する調査結果の例



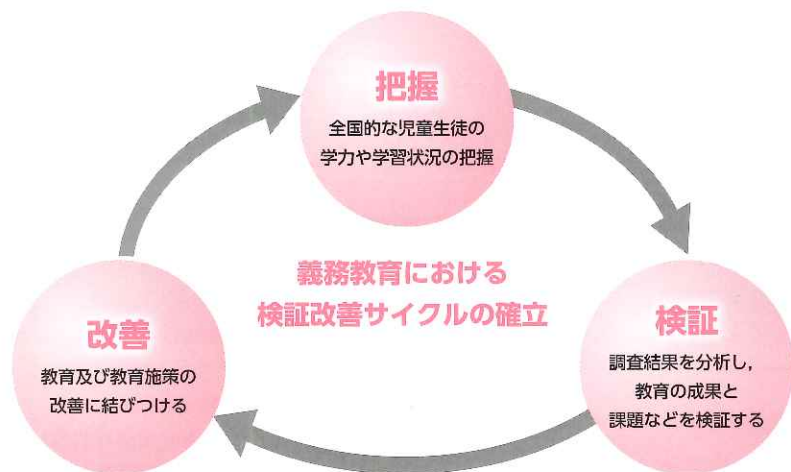
提供

- ◇各教育委員会、学校に以下の調査結果を提供
 - ・児童生徒の正答数分布図
 - ・設問別正答率・無解答率、類型別解答状況
 - ・質問紙調査の結果
 - ・各児童生徒に提供する「個人票」 など

▼「個人票」のイメージ



調査結果の活用



国	教育の改善に向けた全国的な取組を推進 (例) 学習指導要領の改訂、各種施策の検証・改善、教員の配置等への支援、教育委員会や学校における改善の取組への支援 など
教育委員会	域内の教育の改善に向けた取組を推進 (例) 教員の配置等の工夫、教員研修の充実、教育指導等の改善のための資料の作成、保護者や地域と連携した取組 など
学校	個々の児童生徒の課題に応じた教育指導の改善に向けた取組を推進 (例) 課題を踏まえた授業改善の取組、校内研修の充実、家庭における学習習慣や生活習慣の確立に関する保護者への働きかけ、放課後等における補充学習の実施 など

◎全国学力・学習状況調査を活用するための参考資料等

■全国学力・学習状況調査解説資料

調査の実施後、各教育委員会や学校が速やかに児童生徒の学力や学習の状況、課題等を把握するとともに、それらを踏まえて調査対象学年及び他の学年の児童生徒への学習指導の改善・充実等に取り組む際に役立てることができるように作成したもの。

■全国学力・学習状況調査報告書

調査結果を公表するとともに、調査結果を踏まえて学習指導の改善・充実を図る際に役立てることができるように作成したもの。各問題について、解答類型と反応率、分析結果と課題、学習指導の改善・充実を図る際のポイント等を記述。

■授業アイディア例

各学校において、今後の教育指導や児童生徒の学習状況の改善等に活用できるようにするため、全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえて、授業の改善・充実を図る際の参考となるよう、授業のアイディアの一例を示すもの。

■全国学力・学習状況調査の結果を用いた追加分析

国や教育委員会、学校等の教育活動や、教育施策の一層の改善を図るため、大学等の研究機関の専門的な知見を活用し、高度な分析・検証を行った調査研究の報告書。

(分析例)

- ・家庭の社会経済的背景と学力に関する調査研究
- ・良好な結果を示した教育委員会・学校における教育施策・教育指導等の特徴に関する調査研究

文部科学省 HP
国立教育政策研究所 HP

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/
<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

全国学力・学習状況調査

検索